

■故障の際は 下記の保証規定の範囲内で無償保証対応をいたします。

- 必ずお買い上げの会場は保証となります。必ずお買い上げの会場をご確認ください。
- もしお買い上げの会場は直ちにその日の販売店にお申し出ください。
- 販売店の会場が他にある場合は、シートなどへの購入を証する物を保証書に貼りに付けてください。
- 販売店様へのお問い合わせ
- お買い上げ日、貴店の所在地・名称・電話番号を記入、捺印の上、お客様にお渡しください。
- 保証期間内に故障して無償保証をお受けになれます。商品と本書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。

- [illegible]

品名	漏水防止ケトル
品番	2511/RBKETUB.E
カラー	ブラウン
期 間 上 げ 日	買 入 上 げ 日 1年間
お 客 様 お 名 前	住 宅 番 号 日
TEL	
販 売 店 お買い上げ証明書	所在地〒 名 称
TEL	

販売元

株式会社バル
東京都渋谷区神宮前 6-12-22
TEL : 03-5468-8295

カスタマーセンター

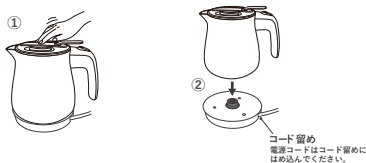
株式会社日・コ・ローエーション
株式会社丸の内・本館地下 7 階 7-1
03-560-0236 TEL:03-20-123-387
受付時間 9:00 ~ 22:00 (土・日・祝日)
(土・日・祝日休館)

願い

使用方法

2. ケトル本体を電源ベースに載せ、電源を入れます

1. 上蓋がしっかりと閉まっていることを確認します (①)。
2. 水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく (ケトル底面の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて) セットします (②)



お願い	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ベースは水平な場所に置いてください。 ●本体を電源ベースの中央にセットしてください。 ●上蓋がきちんと閉まっていることを確認してください。蓋がきちんと閉まっていなと、お湯が沸いても沸騰を検知できず、電源が切れないことがあります。
-----	---

3. 電源プラグをコンセントに差し込みます

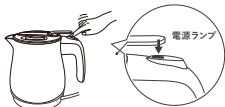
電源プラグをコンセントに差し込みます。
※根元までしっかりと差し込んでください。



使用方法

3. 電源スイッチを押して電源を入れます

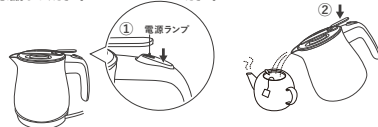
電源ランプが点灯し、沸騰かしを開始します。



△注意	<ul style="list-style-type: none"> ●やけどするおそれがあるので、沸騰かし中や沸騰かし直後は、絶対に蓋を開けたり、お湯や水をつぎ足したりしないでください。
-----	---

4. お湯が沸き、電源が切れます

1. お湯が沸くと自動的に電源が切れます (①)。
(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消えます。)
2. 持ち手を持ち、もう片方手で給湯レバーを押しながら注水してください (②)。
＜お湯が沸く前に電源を切る場合＞ 連続して使用する場合は、電源スイッチを指で押して電源ランプが消えたことを確認してください。

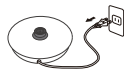


お願い	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ランプが消灯していることを確認し、本体を電源ベースから外してお湯を注いでください。 ●やけどの原因になりますので、沸騰後は持ち手以外を持たないでください。 ●持ち手の根元は熱くなっていますので、持ち手の少し下の方を持ってください。 ●沸騰かし直後は、本体が熱くなっているのに注意してください。
-----	--

使用方法

5. 使用後は

1. 残ったお湯 (水) は捨ててください。
※捨てるときは、必ず注ぎ口から捨ててください。
2. 使用後はコンセントから電源プラグを抜きます。
※お湯が残っていると、本体内側の変色・においの原因になります。



お願い	<ul style="list-style-type: none"> ●水のつぎ足しをくり返して長時間使用すると、水垢が付着したり、お湯が変質したりすることがあります。使用ごとに残った水を捨ててください。 ●こまめにお手入れをしてください。
-----	--

お手入れと保管方法

お手入れの前に

- ※必ずお手入れは本体が完全に冷めてから行ってください。
- ※こまめにお手入れをしてください。
- ※本体の丸洗いはできません。

△警告	<ul style="list-style-type: none"> ●通電状態でお手入れをすると、感電やけがの原因になりますので、お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●ベンジン・クレンザー・たわしなどを使わないでください。 ●動作不働、感電のおそれがありますので、食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。 ●本体の丸洗いはできません。本体の外側に水をかけないでください。水洗いする際は、本体の外側が濡れないように十分ご注意ください。 ●長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。
-----	---

本体内側の水垢(変色)や白い浮遊物について

- 白い浮遊物 (ミネラル分の結晶)
 - 乳白色、黒色、紅色などの変色
 - 赤さび状のはん点 (もらいさび)
 - ざらつき
- 上の例は、水に含まれるミネラル分などの作用によるもので容器自体の変色や腐食ではありません。
衛生上には問題はありませんが、定期的にクエン酸洗浄でお手入れしてください。
※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を満かしたときは容器が変色したり、水垢が発生しやすくなります。

本体外側のお手入れ

- よく絞ったふきんで拭きます。

フタのお手入れ

- 水洗いしたあと、水分を完全に拭き取り乾かします。

電源コード・電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布などで拭き取ります。
- ※シンナー・ベンジン・磨き粉・化学ぞうきんは使用しないでください。

お手入れと保管方法

本体内側のお手入れ

- 市販のケトル洗浄剤、またはクエン酸洗浄をします。
- その後、水分を完全に拭き取り乾かします。
- ※長く使用していると本体内部に水垢が付着することがあります。

＜クエン酸洗浄＞

※市販の電気ケトル洗浄剤が便利です。その場合は洗浄剤の取扱い指示に従ってご使用ください。

1. ケトル本体に最大水位目盛線「MAX」(1.0L)まで水を入れ、約 15g のクエン酸を入れて、上蓋をする
2. ケトル本体を電源ベースに乗せ、電源を入れる
3. お湯が沸き、電源が切れる
沸騰後、約 1 時間放置する
4. ケトル本体を電源ベースからはずし、お湯を捨て
5. ケトル内部をよく水ですぐ
6. クエン酸のにおいを取るために、水を最大目盛線「MAX」(1.0L)を入れて再沸騰させる
お湯が沸いたらケトル本体を電源ベースからはずし、お湯を捨て

お願い	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。 ●クエン酸洗浄の湯は飲まないようにしてください。 ●クエン酸洗浄後は電源を切ってください。
-----	--

収納する

- 直射日光を避け、湿気が少ない場所に保管してください。
- ※本体をお手入れしてからボリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。

廃棄する場合

- 各自治体の廃棄区分に従ってください。

故障かな？と思ったら

症状	原因として考えられること	処 置
お湯が沸かない、電源ランプが点灯しない	電源ベースのコンセントが外れていませんか？ 本体が電源ベースに正しくのっけていますか？ 電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ 電源ベース上面や電源ベース凸接続部に、金属片やゴミが付着していませんか？	コンセントをきちんと差し込んでください。 正しくのせてください。 電源スイッチを「ON」にしてください。 電源プラグを抜いてから、金属片やゴミを取り除いてください。
作動しない、沸騰する前にスイッチが切れてしまう	450mL 未満の水で沸騰を沸かしていませんか？ また、水が入っていない状態でスイッチを入れていませんか？ ケトルを空焚きすると、空焚き防止用の安全装置が作動して、スイッチが入りません。	いったん本体を電源ベースからはずし、本体が冷めてから水を入れて上蓋を開め、お湯を沸かしてください。
湯に白い物が浮く、ケトル内部が汚れていたり、壁面がはがれたように見える	ケトル内部に水垢が付着した後は、はがれた物だと思われ、ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加えると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。有毒ではありません。	ケトルをよく冷ました後、水を 450mL 入れて、電源スイッチを押してください。
沸騰かし時の音が大きくなる	本体内部底面に水垢が付着したためです。	ケトル内部をお手入れしてください。(10～11 ページ参照)
電源スイッチが入らない	本体と電源ベースの端子接続部は正しく接続していますか？	きちんと接続されていることを確認してください。
電源スイッチが切れない	上蓋は閉まっていますか？ 上蓋がしっかりと閉まっていなと沸騰してもスイッチが切れません。	上蓋をしっかりと閉めてください。
お湯が吹きこぼれる	水を最大目盛「MAX」を超えて入れていませんか？	水を最大目盛「MAX」以下にしてください。
お湯がにおう	水道水に含まれる消毒塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	ケトル内部をお手入れしてください。(10～11 ページ参照)

故障かな？と思ったら

症状	原因として考えられること	処 置
使用後しばらくすると音がすることがある	熱せられた部分が冷めるときに発する音ですので、故障ではありません。	そのままご使用ください。
給湯ボタンが下がったまま戻らない	—	使用を中断し、カスタマーセンターにお問い合わせください。

M E N U